

特定非営利活動法人

日本小児循環器学会 理事会 (2021.8-2023.7)

2022 年度第 3 回理事会 議事録



1. 日時

2023 年 5 月 27 日(土) 16:00~19:20

2. 場所

国際文献社会議室および web 会議(zoom 使用)

3. 出席者

理事総数:20 名、出席理事:19 名

理事長:山岸敬幸

副理事長:坂本喜三郎

出席理事:鮎沢衛、赤木禎治、岩本眞理、大内秀雄、小野博、笠原眞悟、城戸佐知子、鈴木孝明、

瀧間浄宏、土井庄三郎、豊野学朋、檜垣高史、中野俊秀、深澤隆治、三浦大、三谷義英、山岸正明

欠席理事:須田憲治(当日追加議案:JCK 三カ国フォーラムの開催について のみ出席、審議)

出席監事:市田蓆子、河田政明、富田英

出席幹事:落合由恵、武田充人、早瀬康信、水野芳子、

4. 議長

理事長:山岸敬幸

5. 議事の経過の要領及びその結果

定刻となり定款第 26 条 3 項により山岸敬幸理事長が議長となり、開会を宣言した。議長より本理事会は定款第 27 条 2 項の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨の報告があった。議長より、本理事会の議事録署名人として小野博理事、笠原眞悟理事が選任された。

6. 前回議事録の確認(2023 年度第2回理事会)

2022年度第2回理事会議事録の確認が行われた。

7. 審議事項

○ 当日追加の議案:JCK 三カ国フォーラムの開催について(須田理事)

提案内容: 第 60 回学術集会会長 須田憲治先生から、第 60 回学術集会事務局、3カ国フォーラム事務局からの審議事項として、Japan-China-Korea Pediatric Heart Forum を開催して良いか。その場合にアジア太平洋地域の3カ国以外の他国の参加を求めて良いか。

議決結果: 全員一致で承認された。赤木先生から韓国・中国へ連絡して頂くこととなった。

第1号議案:2024年教育セミナー(ベーシックコース)のコーディネーター候補について(土井理事)

提案内容: <赤のI> 薬理学の基礎、循環生理、呼吸生理

第一候補:秋田大学小児科 豊野学朋先生

第二候補:埼玉医科大学総合医療センター小児循環器部 増谷聡先生

<青のI> 先天性心疾患各論

第一候補:JCHO 九州病院小児科 宗内 淳先生

第二候補:長野県立こども病院 循環器小児科 瀧間浄宏先生

議決結果: 全員一致で承認された。

第2号議案:2025年度教育セミナー Advance course 世話人候補について(土井理事)

提案内容: 2025年度 第16回 教育セミナー Advance course 世話人候補選として

第一候補:国立成育医療研究センター 小野博先生

第二候補:神奈川県立こども医療センター 上田秀明先生

議決結果: 全員一致で承認された。

○ 当日追加の議案:「心臓カテーテル検査・治療を受ける子どもの安全・安楽のための看護ガイドライン(改訂版)」の日本小児循環器学会ホームページに掲載について(豊野理事)

提案内容: ガイドライン委員会からの提案。日本小児循環器学会ホームページに掲載されている「心臓カテーテル検査・治療を受ける子どもの安全・安楽のための看護ガイドライン」が改訂されたので、ホームページにおける掲載を改訂版に変更したい。

議決結果: 全員一致で承認された。

○ 当日追加の議案:当学会独自のガイドライン「小児心不全薬物治療ガイドライン」の改訂について (豊野理事)

提案内容: 当学会独自の「小児心不全薬物治療ガイドライン」(2015年発行)の改訂にあたり、日本循環器学会 2023-5年「急性・慢性心不全診療ガイドライン」全面改訂に合同作成学会として参画することを検討したが、認められなかった。改訂版については、武田充人先生を班長として、再び当学会独自のガイドラインとして作成する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第3号議案:功労賞について(土井理事)

提案内容: 功労賞は安河内聡先生、小川俊一先生の2名を、特別功労賞として松岡瑠美子先生を推薦する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第4号議案:「多領域ミニカンファレンス」の講師(非会員)への謝礼について(山岸正明理事)

提案内容: 「多領域ミニカンファレンス」の講師(非会員)への謝礼として、1名あたり QUO カード 3000 円の謝礼(年間15,000 円以内)の予算化を申請する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第5号議案:本年度第14期専門医試験の実施要領(鮎澤理事)

提案内容: 本年度第14期専門医試験の実施要領

筆記試験 11月5日(日)東京 順天堂大学保健医療学部(お茶の水センタービル)

口頭試験 11月12日(日)オンライン面接方式で行われる予定。

議決結果: 全員一致で承認された。

第6号議案:第12期専門医試験結果について 前回理事会で承認済みのため、今回の議案から削除

第7号議案:更新書類整備された39地方会の認定(鮎澤理事)

提案内容: 39地方会の更新を認定した。さらに10地方会について7月の理事会までに書類提出、確認できれば更新を認定する予定。

議決結果: 全員一致で承認された。

第8号議案:専門医試験過去問などの雑誌掲載について(大内理事)

提案内容: 制度・認定委員会(専門医制度委員会)と協議し、専門医試験の過去問、模擬試験、類似問題などを学会雑誌に掲載することについて検討して頂きたい。

議決結果: 学会雑誌としては原著・症例報告など学術的内容を掲載することが求められるため、専門医試験の過去問を掲載することは学会雑誌に適さないという意見が出された。過去の問題、類似問題の公開が必要であるか否かについても、今後の継続的な検討を要する。公開する場合には学会雑誌ではなく、ニュースレターか問題集などの冊子を作成するなどを検討する必要がある。

第9号議案:学校検診に関する全国調査の要望書について(檜垣理事)

提案内容: 全国の学校心臓検診の現状を明らかにして、文部科学省に対し学校検診に関する全国調査実施に関する要望書を提出する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第10号議案:「蘇生科学教育委員会」と「学会と教育の連携委員会」との共同HP構築とその原資について(檜垣理事)

提案内容: 小児循環器学会のHPに学校関係者向けのサイトを上記共同HPとして構築したい。(最近作製された一般向けサイトにならって)必要に応じて新潟 PUSH の予算で新規ウェブサイトなどと連携して(外部リンク、予算面も)作成する。

議決結果: 全員一致で承認された。ただし、HPの維持・更新等にも費用がかかると考えられ、構築にあたり外部資金を獲得するなどの方策についても考え、チャレンジしていただく。

○ 当日追加議案:身体障害者手帳の申請において、先天性心疾患は、成人(18歳以上でも)18歳未満用の診断書・意見書で申請できることの周知について

提案内容: 身体障害者手帳の申請において、先天性心疾患は18歳以上の成人でも、18歳未満用の診断書・意見書で、新規でも再認定でも申請できることを周知する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第 11 号議案:「TPVI レジストリ手順書」の 日本小児循環器学会事務局内での保管、およびホームページ内の TPVI 関連ページへの掲載について (三浦理事)

提案内容: 日本小児循環器学会ホームページ内の TPVI に関するページを改訂し、「経皮的肺動脈弁留置術」「TPVI レジストリ」「TPVI 施設登録」を作成し、TPVI レジストリの項目の下に2つの文書(規程と細則)を掲載する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第 12 号議案:「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」の遵守依頼について(瀧間理事)

提案内容: 本学会学術集会、分科会に対して、日本医学会連合が作成した「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を遵守するように通知し、各学会および研究会のホームページに指針の URL 掲載を依頼する。

議決結果: 全員一致で承認された。

第 13 号議案:定款施行細則変更(学術集会会長)について(小野理事)

提案内容:学術集会会長は共同会長、副会長を設置することができるという項目を細則に追加したい。

定款細則に「会長は共同会長と副会長を設置することができる。設置する場合は会長立候補申請時に共同会長と副会長の設置を報告する必要がある。共同会長と副会長は外科系、内科系にかかわらず、会長選出に関する第 8 条 10 項(1)の規程には関係しない。共同会長、副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、共同会長、副会長、理事長の順番でその職務を代行する。」という内容を追加する。

議決結果:「共同会長、副会長を設置する理由がはっきりしない」、「選挙になった場合、共同会長、副会長を既に指名している場合と指名していない場合に不公平が生じるのではないか」、「副会長を務めた場合、のちに会長に立候補することが出来るのか明確にする必要がある」、「共同会長、副会長の設置時期を立候補時に限定すべきではない」などの意見があり、継続審議となった。

第 14 号議案:2026 年学術集会会長の選出(坂本副理事長)

提案内容:2026 年の日本小児循環器学会学術集会の会長候補として、山岸敬幸先生、先崎秀明先生が立候補されている。そのため、山岸理事長は一旦退席し、本議案については坂本副理事長が進行した。先崎先生は北里大学心臓血管外科・宮地鑑先生と共同で開催する意向を示しているが、上記第 13 号議案が議決に至らなかったため、坂本副理事長が先崎先生に共同会長、副会長が認められない状況でも継続して会長への立候補をするのか否かを確認できるようにする。二人が立候補するのであれば、細則に記載があるように理事会で開催に関してのプレゼンテーションを行う必要があることが確認された。そのため、総会までに理事会を開催して選挙を行うこととする。もし、立候補者が一人となるなら、理事会で信任投票を行う方針とする。

第 15 号議案:2027 年学術集会会長の選出(外科系)

上記第 14 号議案が継続審議となり、本議案は審議に至らなかった。

第 16 号議案:日本肝臓学会・日本成人先天性心疾患学会との共同シンポジウム開催について(山岸理事長)

提案内容: 日本肝臓学会・日本成人先天性心疾患学会との共同シンポジウム開催を計画し、3 学会理事長により「共催シンポジウム開催に関する覚書」を作成した。

議決結果: 全員一致で承認された。

第 17 号議案: 名誉会員・特別会員の推戴について(山岸理事長)

提案内容: 今年度推戴する名誉会員候補 5 名・特別会員候補 21 名について審議する。

議決結果: 全員一致で承認された。追加の推薦はなかった。

○ 当日追加の議案: 第 2 期循環器病対策推進基本計画の個別施策について (三谷理事)

提案内容: 都道府県の循環器病対策推進協議会で検討・決定される第 2 期循環器病対策推進基本計画の臨床指標・個別施策について、小児循環器・成人先天性心疾患に関係する試案を、日本循環器学会・日本心臓病学会・日本成人先天性心疾患学会・日本小児循環器学会の 4 学会理事会承認のもと、申請したい。

議決結果: 全員一致で承認された。

8. 報告事項

1) 理事長報告

・ 持ち回り理事会報告

<7 号議案> ゴアドライシールフレックスイントロデューサシースの安定供給継続に対する要望書

<8 号議案> 選挙管理委員会委員について

<9 号議案> 研究課題 B 「Fontan 術後の門脈血行動態に関する研究」(責任者・宗内淳先生) の研究期間 1 年延長申請について

<10 号議案> 第 59 回小児循環器学会学術集会における AHA-JSPCCS ジョイントセッションでの発表におけるアンケート調査支出について

<11 号議案> 心臓血管外科・地域グループミーティング実施の依頼について

以上が持ち回り理事会で審議され、いずれも承認された。

2) 会長報告

・ 第 59 回学術集会準備報告 (鈴木孝明会長)

演題採否の通知を送付し、日程表を HP に掲示した。参加登録は間もなく開始する。完全現地開催とし、クレジットセッション(医療安全、医療倫理)のみオンデマンド配信する。7/5 理事会、評議員会、拡大プログラム委員会、7/6 会員懇親会、7/8 新旧理事会、総会・表彰式を予定した。閉会式後に教育セミナー、市民公開講座を計画した。海外から 9 名を招聘、7/8 第 3 回 AAPCHS (坂本副理事長学術集会長) を同時開催する。所属施設の若手医師、多領域専門職、特に看護師の参加を促して欲しい。

・ 第 60 回学術集会準備報告 (須田憲治会長)

渉外委員会の赤木先生から韓国と中国に確認して頂いた上で、3 カ国フォーラムを同時開催する方向で、ポスターを作成している。ホテルは十分確保した。

3) 各エリア報告

時間が限られている為特に口頭での報告が必要な内容のみ説明があった。各委員会報告を参照頂きたい。

・ 学術エリア

学術委員会（土井理事・豊野理事）

内科系教育委員会（土井理事・藤井隆成委員長）

2024年2月3-4日に世話人小垣滋豊先生で教育セミナーadvanced courseを予定している。

データベース小委員会（土井理事・関満委員長）

外科系教育委員会（中野理事・猪飼秋夫委員長）

学術集会翌週に外科系セミナーを予定している。詳細決定次第提示する。

形態登録小委員会（土井理事・稲井慶委員長）

研究委員会（土井理事・新居正基委員長）

遺伝子疫学小委員会（土井理事・犬塚亮委員長）

ガイドライン委員会（土井理事・横山詩子委員長）

学術集会支援委員会（土井理事・早瀬康信委員長）

ジョイントセッション委員会（土井理事・先崎秀明委員長）

顕彰委員会（土井理事・小垣滋豊委員長）

・ 渉外エリア

渉外委員会（三谷理事）

学校心臓検診はデジタル化の方向で進んでいる。学校心臓検診あり方ワーキングは、今後自見代議士、文科省、こども家庭庁、日本医師会と意見交換を行っている。今後このような政治的働きかけも必要と考えている。

国内の学会とのジョイントセッションの状況、AHA, AEPC との MOU 締結と短期交換留学の再開の予定と協力を、資料で求めた。

・ 次世代エリア

次世代育成委員会（山岸正明理事）

「提言」は本学会 HP に公表した。小児心臓外科医生涯育成プログラムも完成した。施行規則とともに次回理事会で審議依頼する予定。地域グループミーティングも承認されたので進めていきたい。どのように進めていくかが大事なところと考えている。

「集約化」の文言は抵抗があるとの意見から「地域拠点化」として進めていくこととした。

多領域専門職委員会（山岸正明理事・仁尾かおり委員長）

働き方改革委員会（岩本理事・佐藤誠一委員長）

次回学術集会で厚労省専門官藤川先生に講師を依頼している。「働き方改革」と「次世代育成」のプログラムが続いて予定されているので、藤川先生にも参加頂き意見を聞いていきたい。

・ 専門医制度エリア

専門医制度・認定委員会（鮎沢理事）

サブスペシャリティ認定申請の書類を2月に提出し審議待ちの状態である。秋まで返答はないとの情報がある。見通しは明るいと言われているが、いろいろなことがあって遅れている様子である。

専門医修練記録の評価及び審査を行い易くするために電子システムの使用を検討している。また、機構から専門医が認定される動きとなった際に修練施設の指導医の資格が問われることが予想されるため、専門医に指導医の資格が与えられるようなフォーマットを考えていきたい。専門医はできるだけ全員指導医の資格が与えられるように考えていきたい。

専門医試験委員会（鮎沢理事・平田陽一郎委員長）

専門医カリキュラム委員会（鮎沢理事・麻生健太郎委員長）

・学会誌エリア

和文誌編集委員会（大内理事・高橋健委員長）

投稿数が減っているので、対策を検討している。

英文誌編集委員会（大内理事・上村秀樹委員長）

IF を目標にしており体裁を整える必要があるため、まず投稿規定及び査読システムを整えた。

学術集会の招聘演者にレビューを依頼する予定である。

・社会制度エリア

移植委員会（笠原理事・福寫教偉委員長）

全国小児心臓肺移植患者のアンケートを実施している。

地域性を考え九州大学の平田先生に委員に入ってもらった。

今回の学術集会において移植に関わる「地域性」「搬送」の現状と課題を周知したくセッションを企画している。

小児慢性・難病対策委員会（檜垣理事）

小児慢性・指定難病などの診療報酬について（小児科療養指導料 270 点/月）

15 歳～18 歳における加算がないため、要望していきたい。

生後 24 時間以内の新生児の SpO₂ モニターの一般化について、日本小児科学会、日本新生児成育医学会からの相談に対応する。

蘇生科学教育委員会（檜垣理事・太田邦雄委員長）

学術集会で委員会企画を予定している。また、心肺蘇生講習会や救急シミュレーションの HP 紹介を準備している。

学校心臓検診委員会（檜垣理事・牛ノ濱大也委員長）

PHR 化を見据え学校検診に関する全国調査実施に関する要望書を提出する（審議事項 9）

移行医療委員会（檜垣理事・落合亮太委員長）

学校と教育の連携委員会（檜垣理事・内田敬子委員長）

「蘇生科学教育委員会」と「学会と教育の連携委員会」との共同で HP 構築する（審議事項 10）

・保険診療/臨床試験エリア

保険診療委員会（小野理事）

2024 年度診療報酬改定に学会として 4 課題提出した。秋に厚労省ヒアリング等あるので準備をしている。

臨床試験委員会（三浦理事）

経口抗凝固薬は PMDA に承認申請が済んだ。来年頃 Fontan 術後患者の適応が通ると予想される。

抗心不全薬は順調に手続きが進んでおり、2024 年早々の承認を目指している。エンドセリン拮抗薬は、難航していたが学会との契約が締結できた。

手術パッチ素材は製造販売承認申請が済んだ。

ランジオロール（オノアクト）は昨年小児の保険適応を取得し治験の成果を論文化した。次回の学術集会でランチョンセミナーがある。

医療材料機器委員会（三浦理事・杉山央委員長）

薬事委員会（三浦理事・坂口平馬委員長）

HBD for children 委員会

海外とのミーティングを定期的実施するなど活発に活動している。AMED 研究に応募し、ヒアリングを受け、結果待ち。

・医療安全・倫理エリア

医療安全委員会（鈴木理事）

次回の医療安全講習会の講師は NPO 法人架け橋理事長である豊田郁子氏に依頼している。

利益相反委員会（瀧間理事・中島弘道委員長）

倫理委員会（瀧間理事・前田潤委員長）

・未来予想図委員会（・広報委員会）

未来予想図委員会（山岸敬幸理事長）

「小児・成育循環器学」を学会主導で改訂を進めている。現在前回執筆者（評議員中心）に依頼を送付している。

広報委員会（山岸敬幸理事長・松井彦郎委員長）

HP の患者家族向けページが好評で、SNS 発信も開始しアクセス数が増加、Twitter では医学系学会でフォロワー数が 10 位以内に上がっている。

9. その他（山岸敬幸理事長）

次回理事会は 7/5(水)に予定されている。

理事選挙が終了し 12 名の当選理事が決定した。

本日の理事会の前に新理事会体制検討会議があり、理事長は立候補により山岸敬幸理事長に決定、副理事長は理事長が指名し坂本喜三郎副理事長に決定した。8 名の推薦理事、3 名の監事、4 名の幹事（うち 1 名は多領域専門職）候補者を選出した。事務局から依頼する。現行のエリア体制は継続する。

理事長として 2 期目なので、継続性と新規性を大事に活動していく。

学術集會中 7/8 に新旧理事会を予定している。

10. 閉会

以上をもって本日の議事を終了とし、議長から謝辞があり、閉会した。